

第5回京丹後市教育振興計画策定委員会会議録

日時：令和7年2月7日（金）10時30分～11時00分

場所：京丹後市役所大宮庁舎 4階 第2・3会議室

出席者 和田省委員長、竺沙顧問、中川顧問、櫛田委員、
坪倉委員、板倉委員、中村委員、藤井委員、味田委員、
和田直委員、小谷委員、藤田委員、野村委員、藤原委員（敬称略）
欠席者 赤松副委員長、林顧問、奥田委員、後川委員、岡田委員、石田委員（敬称略）
オブザーバー 丹後教育局 永井博之
事務局 松本教育長、川村教育次長、久保理事兼総括指導主事、
上羽理事兼学校教育課長、松本生涯学習課長、
下戸スポーツ推進室長、村田文化財保存活用課長
西村教育総務課長、松下教育総務課主任、西垣教育総務課主事

議 事

1. 開会あいさつ
2. 計画の最終案について 資料1 資料2
（意見交換）
3. その他
4. 閉会あいさつ

【議事】

1. 開会あいさつ

〈教育総務課長〉

本日はお忙しい中、お足元の悪い中、お集まりいただきありがとうございます。

私は、本日の会議の司会進行を務めます、教育総務課長の西村でございます。どうぞよろしく申し上げます。

ただいまから、第5回京丹後市教育振興計画策定委員会を開会いたします。

初めに、委員長よりご挨拶を申し上げます。

〈委員長〉

皆さんおはようございます。

今年の冬も雪が少なく春を迎えるかなと思っておりましたが、思わぬ節分寒波に見舞われ大雪になってしまいました。

足元の悪い、悪路の中来ていただいて、大変御苦労様でございます。竺沙顧問におかれましては、無事に電車が動いたようでありますので、お世話になりますけれども、よろしくお願いしたいと思います。

さて前回は、年末の12月24日にお世話になりました。皆さんが情報を共有するような

質問事項で深めていただき、或いは質問事項等々を出していただいて、また一層深まったのではないかなというように思います。

それを踏まえて本日は若干パブリックコメントの状況もありますし、考慮していただきながら、中身を少し検討もしていただきながら、最終版の成案として出していただくと伺っておりますので、是非ともうまく承認していただいて、次の段階に進めていただければありがたいなと思います。

過日、1月の19日に市の教育フォーラムがございました。皆さんの中にも出ていらっしゃった方があったかも知れませんが、私も参加をさせていただきました。この教育振興計画とも関係しておりますように、英語運用能力をつけて、海外で、世界で、活躍できるような人材を育てていくというようなことを掲げて議論をしてきていただいておりますけども、その教育フォーラムの講演の中で、非常に心強い評価でありますとか、値打ちづけをしていただいて、本市が目指していただこうとしている方向性について、確信が、私自身は持てたのではないかなというような感想を持ちながら、聞かせていただいております。

等々いろいろな状況の中で、この教育振興計画の持つ意味は大変大きなものではないかと思っておりますので、最終版、しっかりとまた議論をしていただいて、確認をしていただければ大変ありがたいと思っておりますので、今日もよろしくお願いをして、開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

〈教育総務課長〉

次に、教育長よりご挨拶いただきたいと思います。

〈教育長〉

改めて皆さんおはようございます。

先ほど委員長からもありましたように、本当にお足元の悪い中、雪の中出席いたしましてありがとうございます。

いよいよこの策定委員会も大詰めを迎えておりまして、パブリックコメントでいただいたものも今日提示させていただきたいというふうに思っておりますので、皆さんのご意見をいただきながら、最終的な調整を図っていききたいなというふうに思っております。

先ほどこれも委員長からもありましたように、1月中旬には市の教育フォーラムを実施しまして、前さいたま市の教育長細田眞由美先生に来ていただいてご講演をいただきましたし、京丹後市が進めているE L S A S p e a kのリーディングコンテストの表彰式でありますとか、グローバル人材の育成のプランなんかについても、広く市民の皆さんにも聞いていただき、理解していただく機会になったのではないかなというふうに思っています。

そういう意味において、今進めております5年先を見据えたこの教育振興計画というところが、今後の試金石になろうかというふうに思っておりますので、子どもたちがよりよく京丹

後市の中で育ち、また海外も含めて活躍できる、そういう人材を育成していく上において何が今必要なのかというところ、最後は皆さんにもご意見いただきながらまとめていきたいと思っておりますので、オンラインで参加いただいております中川顧問をはじめ、どうぞよろしくお願いいたします。

〈教育総務課長〉

議事を進める前に、資料2を机上配布しておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、今後の進行につきましては、委員会設置要綱第6条により、委員長が議長となるとなっておりますので、委員長にお世話になりたいと思います。よろしくお願いいたします。

〈委員長〉

それでは、今日も進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

初めに傍聴の方が1名ございますので、許可をさせていただいて、既に座っていただいておりますので、ご紹介をさせていただきたいと思います。

それでは次第によりまして議事を進めてまいりたいと思いますので、計画の最終案について、事務局より説明をお願いします。

2. 計画の最終案について 資料1 資料2

～事務局説明～

〈委員長〉

ありがとうございました。

今、振興計画の前回の協議を踏まえた、或いは内部協議をしていただいたもので、訂正した部分と、パブリックコメントであった内容等について提案、報告をしていただきました。

前回で共有している、事前に資料を配布しているという前提で進めたいと思いますが、とは言いましても思い出すのがなかなか難しいかなと思いますので、じっくり読み込みながら話をさせていただいたり、聞いていただいたりということを挟んでいただく必要があるかと思いますが、項目ごとに見て行かずに、一括して気づきのあるところから出していただいて、確認が必要なところはしていきたいと思いますので、今の報告、提案を聞いていただいて、気づき、或いは疑問、質問等がありましたらお出しいただいて深めたいと思います。

〈委員〉

全体については、前回、意見を言わせていただきました。

あと、今パブリックコメントを受けて、計画案の修正に至るものはなかったということでしたが、プロジェクト6の部活の地域移行、地域連携のところ、以前よりも少し小さくなっているような感じがするんですが、以前は、単に学校の部活を切り離すだけではな

くて地域との連携というようなところまで踏み込んで書いてありましたが、それが今回、学校内で運営されてきた部活を地域で、というふうに変わっているのです、ここは特にパブリックコメントの意見を反映させたわけではなくて、教育委員会の中でこういうふうになったということですか。この辺りのところが教えて欲しいです。

<委員長>

その辺りの経過をお願いします。

<教育理事兼総括指導主事>

ありがとうございます。

実を言いますと、12月6日に地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議というところから、中間とりまとめ(案)というものが出ました。その中で、「地域移行」という言葉を「地域展開」というふうに変えていくということが出ました。

その理由としては、スポーツ団体に委ねるということで、学校と地域、どちらかという二項対立をイメージさせる「地域移行」という言葉から、「地域展開」という言葉に変えていくということでしたので、本市としてもその言葉を使って振興計画に載せさせていただいたほうがよいのではないかという検討のもと、この言葉を使わせていただいております。

ただ、説明の文に以前書いておりました、方向性としては、長く書いていた、今本来消えている部分の方向性で進むんですけども、文言の説明となった場合はこの赤字の部分に変えてしまわないと、ちょっと齟齬が起こるのかなというところで、地域展開の意味の説明をするということに書き換えさせてもらっているというのが、今回の変更の意図でございます。

意味としては、京丹後が進めていく部活動の地域展開については、以前黒字で書いた、そのような方向で進めていくっていうのが、本市の進め方であるのはそうなんですけれども、今回地域展開という言葉の説明に少しちょっとシフトを変えてしまったというところから、小さくなってしまったというようなご印象を与えているのかなというふうに今思いました。

<委員>

イメージ的には逆な感じがしまして、「移行」のほうがどちらかというと学校でやってきたスポーツを切り離して外で、「展開」というと部活以外のことも地域内でできることはするというような、少し逆のイメージだったんですが、分かりました。ありがとうございます。

<委員長>

ほかにございましたら、お出してください。

ございませんか。

ほぼ今までの、第4回の協議の中で、十分とは言えないところもあるかと思いますが、一応共有できたというようなところでよろしいですか。

顧問、ここまでで何かコメントございますか。

〈顧問〉

感想になりますけれども、この振興計画、本当によく練られたものになったなということを感じます。

1 つは、一般の人が読んでも分かるような表現にするにはどうしようかということをしごく考えられているということと、そして、何よりいいのが、数値目標がないというふうなご指摘もありましたけれども、ないことも含めて、つまり何をやっていくかっていうことがかなり柔軟に展開できる、そういう計画でもあります。

数値目標も含めてカチッとつくってしまうと、それに縛られてしまいます。でもそうではなくて、本当にやりたいことがうまく表現されていて、そして具体的に何をやるかは、その時々で考えながら、いろいろな状況に合わせて具体的な計画をつくることができるものになっているなということを、しごく読んで感じたところですので、こういうスタイルというのは私も見たことがなかったので、ほかの自治体にもしごく参考になる、そういう振興計画を新たにつくり上げられたなという印象を強く持ちました。

示し方も、写真がたくさんあって、また表紙も工夫されていて、イラストが入ったりして、本当にこの考え方がいろいろな形で伝わるように、細かいところまで神経を使って、工夫されてつくっておられるなということを感じました。

今後これをどう実施していくのかということが、多分教育委員会と学校、或いは市長部局とも連携していくことも必要で、また府のほうとも連携すべきところもありますけれども、そういうところを、実際の実行計画というのも多分毎年いろいろ工夫されてつくっていけることになるんだろうなということも感じました。

焦点は学校園になるかなというふうには思います。個々の状況とか、教育環境を整備して、実際に教育が行われる場がどんな場になっていって、またそれが本当にこういう計画、ビジョンというものを実施するのにふさわしいような場になっているかどうかということは、これは計画では書けないことですので、そういう見方で、学校園をいろいろとサポートしていくことも必要ですし、また市民の皆さんや保護者の方々も、こういった理念をもとにうちの学校園ではどんなことになっているだろうかということを見ていくことも可能だと思いますので、そういう意味では学校園を中心にして、いろいろな話合いや取組が促されるような内容になったのかなというふうなことを感じているところです。

私自身も本当に勉強させていただきまして、ありがとうございました。

〈委員長〉

大変勇気が出るコメントをいただいて、やってきてよかったなと思っております。

ありがとうございました。

終わってしまいそうな雰囲気なんですけども、さらに付け加えてございましたら。

だんだん思い出すところもあるかなと思いますので。

よろしいですか。

それでは、もう今まで十二分に議論していただいた証だというふうに捉えて、今日はすんなりとお承認いただいたということで、閉めさせてもらってもよろしいですか。

そういうことで確認をさせていただきますので、この成案につきましては、みんなで確認をしていただいたということで終わらせてもらいたいと思います。

続きまして、その他に入りたいと思いますが、何か事務局よりありますか。

3. その他

〈教育総務課長〉

事務局としては特にございません。

〈委員〉

全然関係ないことではございますけど、来る 3 月 15 日にオリンピックで銀メダルをとられた高谷大地選手と、もう 1 つ前にこれもオリンピックでレスリングで銅メダルをとられた井上謙二選手を招聘しまして、アミティで講演会をするということでもありますので、またいろんな広報媒体を通じてご案内させていただきますけども、よろしければ是非ともご参加いただければというふうに思いますので、よろしくお願いします。

〈委員長〉

というご紹介でした。ほかにはございますか連絡も含めて。

では、ないようですので、短時間でおいでいただきありがとうございます。

閉会に当たりまして、教育次長からご挨拶をいただきます。

4. 閉会あいさつ

〈教育次長〉

今日は副委員長が欠席ということで、急遽僭越ながら閉会のご挨拶をさせていただきたいと思います。

第 1 回が今年の 3 月だったと思います。委員の皆様、また顧問の皆様には 3 月から、本日第 5 回までの検討を重ねていただきまして、先ほど顧問からもありましたとおり、これまでの 10 年の計画を 5 年にまとめる、コンパクトにまとめるということですか、数値目標をなくすというようなこともこの検討会の中でご意見をいただいたというふうに思っておりますし、5 年で集中的、積極的に京丹後市がやっていく教育の方向性を焦点化したものでまとめていったというふうに考えております。

本当によく皆様にいろいろと意見をいただいて、しっかり案をつくっていただいたというふうに思っております。本当にありがとうございます。

今後は、京丹後市の総合教育会議にこの案を提出しまして、中身を議論していただきます。そのあと京丹後市の教育委員会に最後出しまして、お認めいただいたら策定決定とい

うことになりまして、来年度4月、この4月から新たな教育振興計画ということで、これに基づいて本市の教育を進めていくこととなりますので、しっかりと行っていきたいというふうに考えております。

また委員の皆様には、今後とも本市の教育につきまして、引き続きいろいろとご指導、ご意見いただけたらというふうに思いますので、よろしくお願いしまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

〈教育総務課長〉

長期間にわたり、ご協議いただきありがとうございました。

本日の会議終了となります。ありがとうございました。